



株式会社ウェッジホールディングス 2013年11月 事業説明会

2013年11月26日

 WedgeHoldings

 www.wedge-hd.com

Contents

第一部 当連結会計年度の決算内容

- 連結経営成績 (P/L)
- 連結財務状況 (B/S)
- セグメント別業績

第二部 主要トピックス

- 営業拡大で急速な貸出成長
- 売上高の順調な伸張
- 貸倒引当金計上額の増加

第三部 現状と今後に向けた仕込(施策)

- ファイナンス事業(タイGL社)
 - ・仕込1:既存ディーラーの審査を厳格化
 - ・仕込2:新たな地域で新規ディーラーとの提携関係を構築
 - ・仕込3:回収した中古オートバイの販売先開拓

第三部 現状と今後に向けた仕込(施策)

- ファイナンス事業(カンボジアGLF社)
 - ・仕込1:ホンダNCX社(98%のシェア)との独占契約
 - ・仕込2:カンボジア全土への営業拠点展開
 - ・仕込3:SIAM KUBOTAとの提携で新たに農機具リースを展開
- コンテンツ事業
 - ・仕込1:新規顧客・コンテンツの獲得と既存顧客への密着
 - ・仕込2:開拓精神を起こす「解放」環境の整備
 - ・仕込3:アジアにおける多言語展開の推進

第四部 業績予想と目標

- 2014年9月期業績予想



当連結会計年度 の決算内容

連結経営成績 (P/L)

(単位:千円)

	2012年9月期決算	2013年9月期決算	対前年比
売上高	3,319,524	4,875,275	146.9%
営業利益	842,610	791,122	93.9%
経常利益	894,137	857,917	95.9%
当期純利益	172,274	490,908	285.0%

連結財務状況(B/S)

(単位:千円)

連結貸借対照表	2012年9月期	2013年9月期	対前期末比
流動資産	7,537,356	15,330,482	203.4%
固定資産	2,919,440	3,865,298	132.4%
(内) 投資その他の資産	2,217,052	2,750,090	124.0%
資産合計	10,456,797	19,195,780	183.6%
流動負債	2,417,769	5,379,742	222.5%
固定負債	1,535,781	4,078,836	265.6%
負債合計	3,953,551	9,458,578	239.2%
株主資本合計	4,734,041	5,259,714	111.1%
純資産合計	6,503,246	9,737,202	149.7%

流動比率	311.7%	285.0%
固定比率	61.7%	73.5%
株主資本比率	45.3%	27.4%
D/Eレシオ	74.2%	170.4%

セグメント別業績

(単位:千円)

報告セグメント		2012年9月期 第4四半期	2013年9月期 第4四半期	前年同期比
ファイナンス事業	売上高	2,210,390	4,113,405	186.09%
	セグメント利益	862,087	979,567	113.63%
コンテンツ事業	売上高	695,495	582,972	83.82%
	セグメント利益	249,027	108,961	43.75%
(合計)	売上高	3,319,524	4,875,275	146.87%
	セグメント利益	842,610	791,122	93.89%

※物販事業は第2四半期において事業譲渡を行ったことにより、連結より除外しております

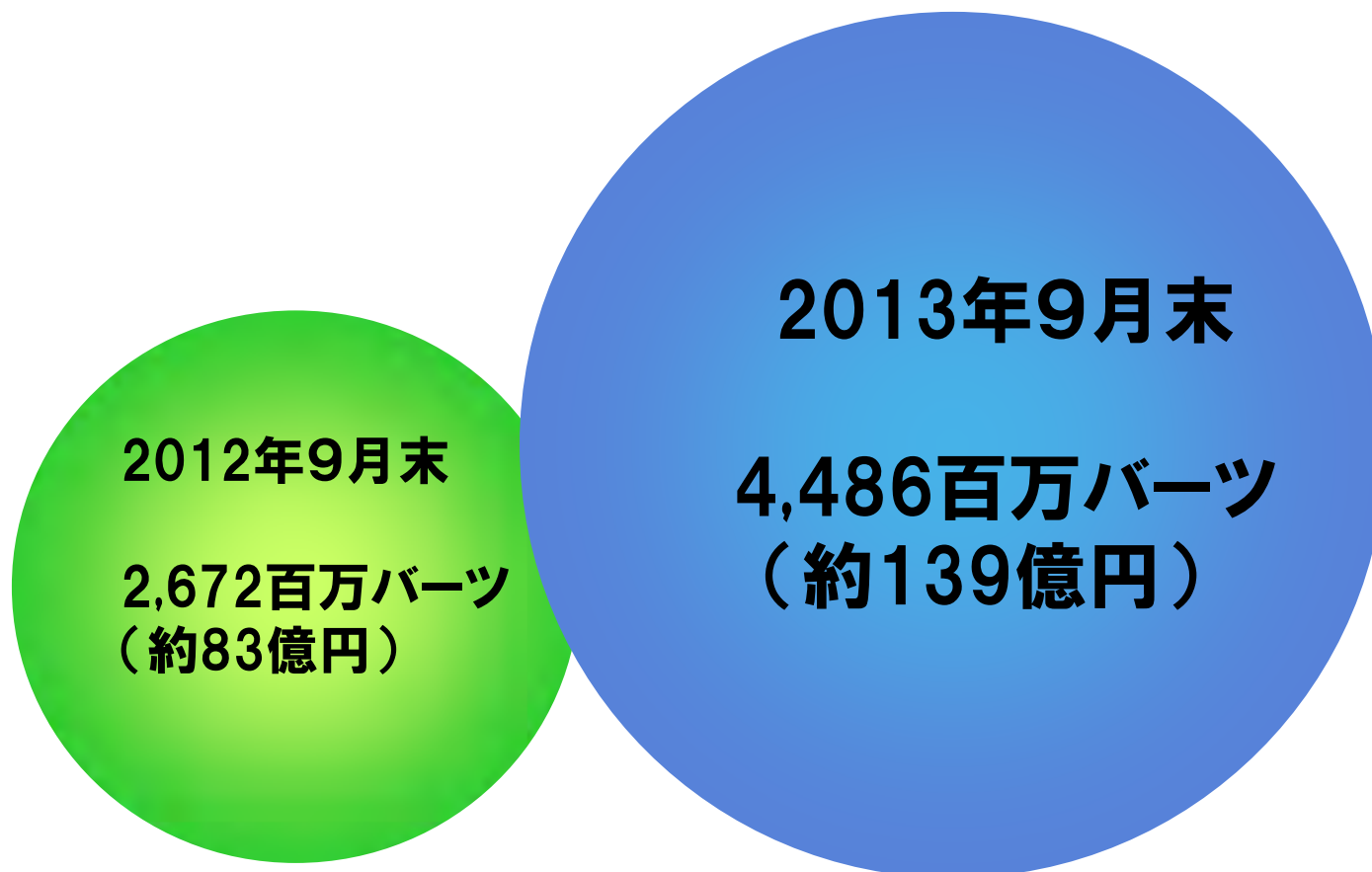
❖ Zeavola Resort の持分法適用投資利益(のれん償却前)も前年比で大きく伸張

	2012年Q4	2013年Q4	前年比
売上高	414,983	628,705	151.5%
持分法投資利益	59,742	69,937	117.1%

主要トピックス

営業拡大で急速な貸出成長

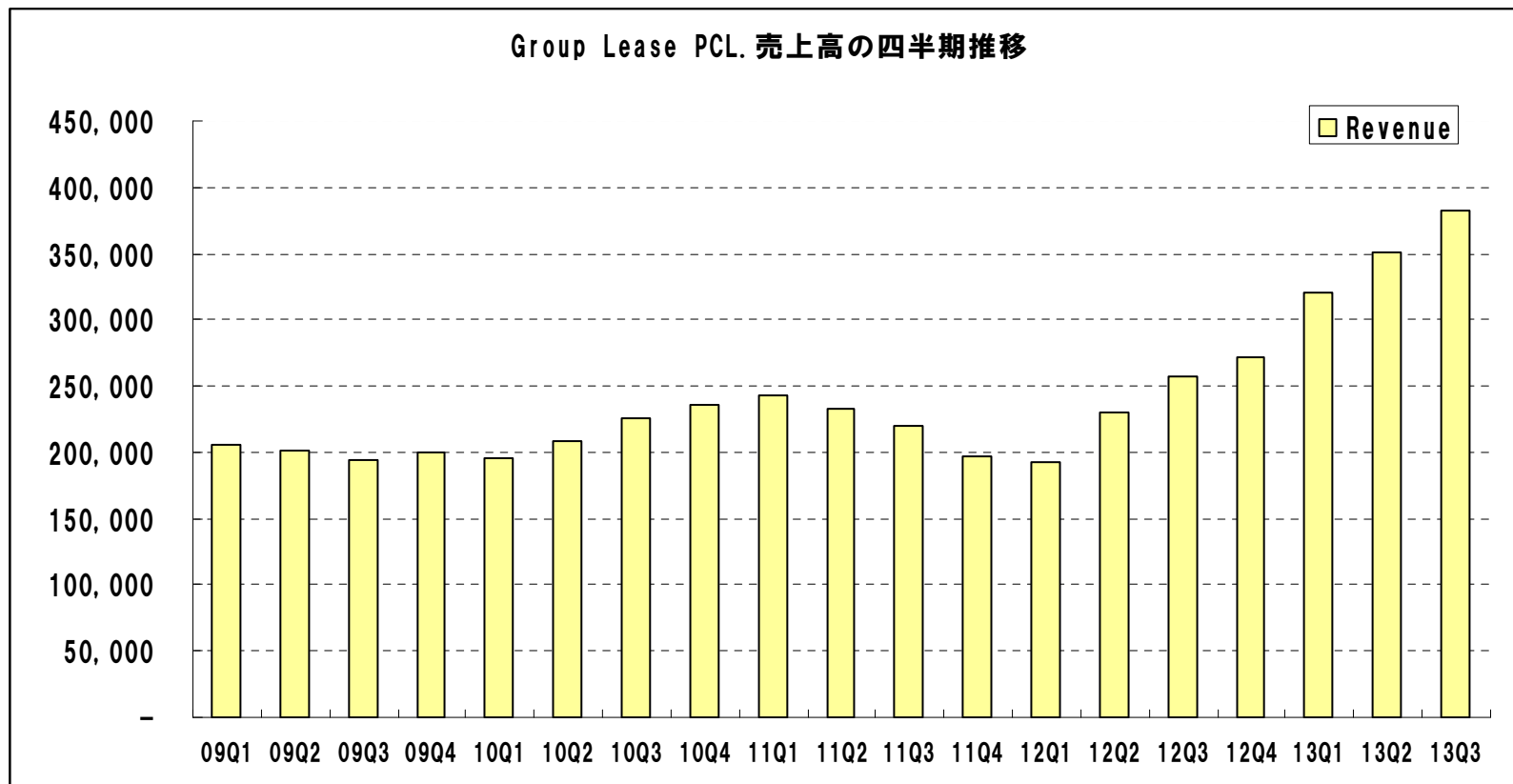
- ❖ ファイナンス事業の貸出総額(ポートフォリオ)は1年間で約68%の成長



※円建て額は2013年9月30日レートを採用
便宜上1バーツあたり3.11円として算出

売上高の順調な伸長

❖ ポートフォリオの拡大に伴い、ファイナンス事業の売上高は拡大推移が続く

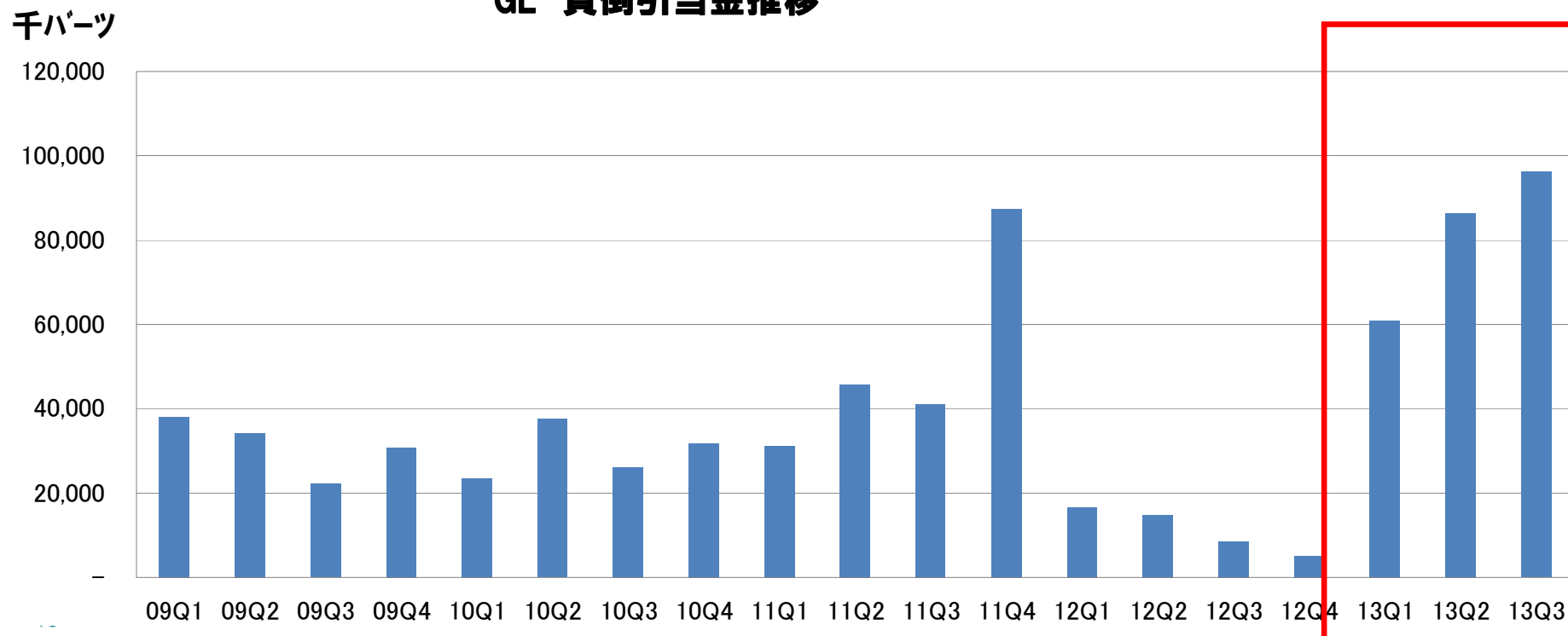


貸倒引当金計上額の増加

貸倒引当金増加の主な要因

- ・昨年からの継続的なポートフォリオの拡大
- ・洪水による一時的な引当増により昨年が低水準であった
- ・2012年末に実施した保守的な貸倒引当金基準への変更

GL 貸倒引当金推移



現状と今後に向けた仕込(施策)



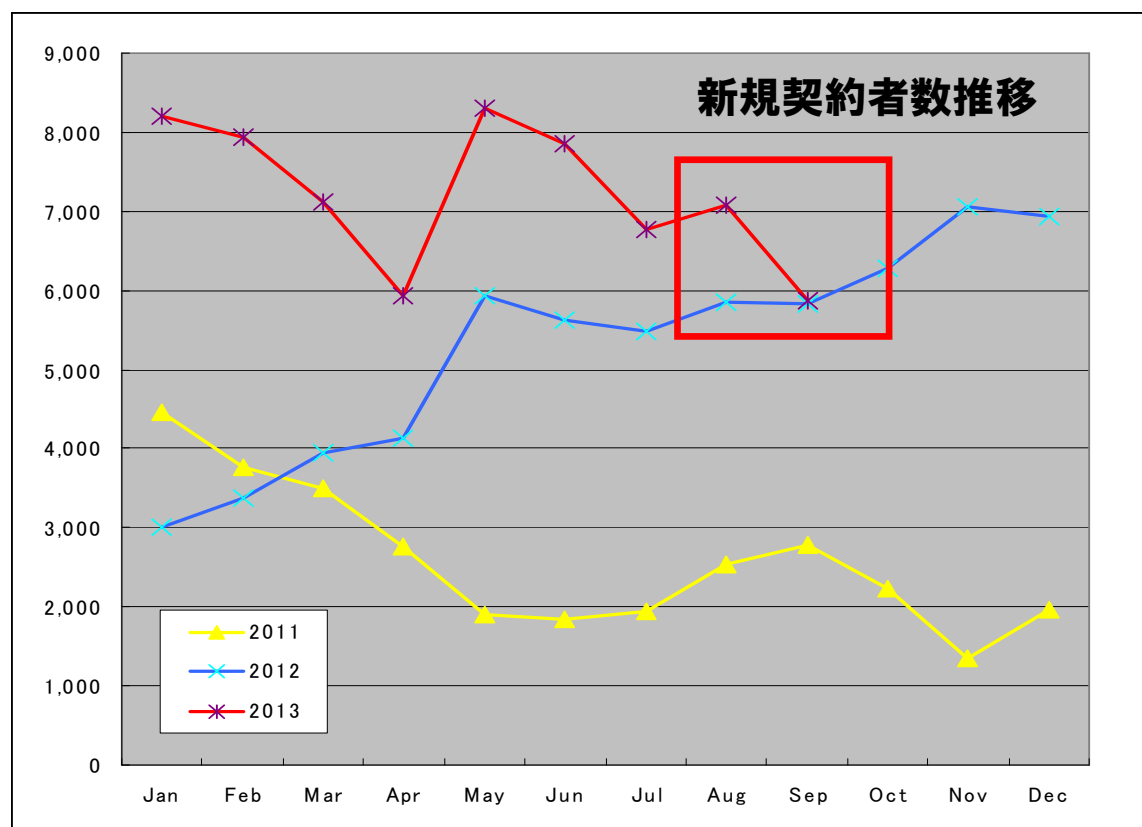
ファイナンス事業(タイGL社)

❖ GL社では以下の3つの仕込を実施

1. 既存ディーラーにおいて、審査を厳格化
2. 新たな地域において、新規ディーラーとの提携関係を構築
3. 回収した中古オートバイの販売先開拓

ファイナンス事業(タイGL社)

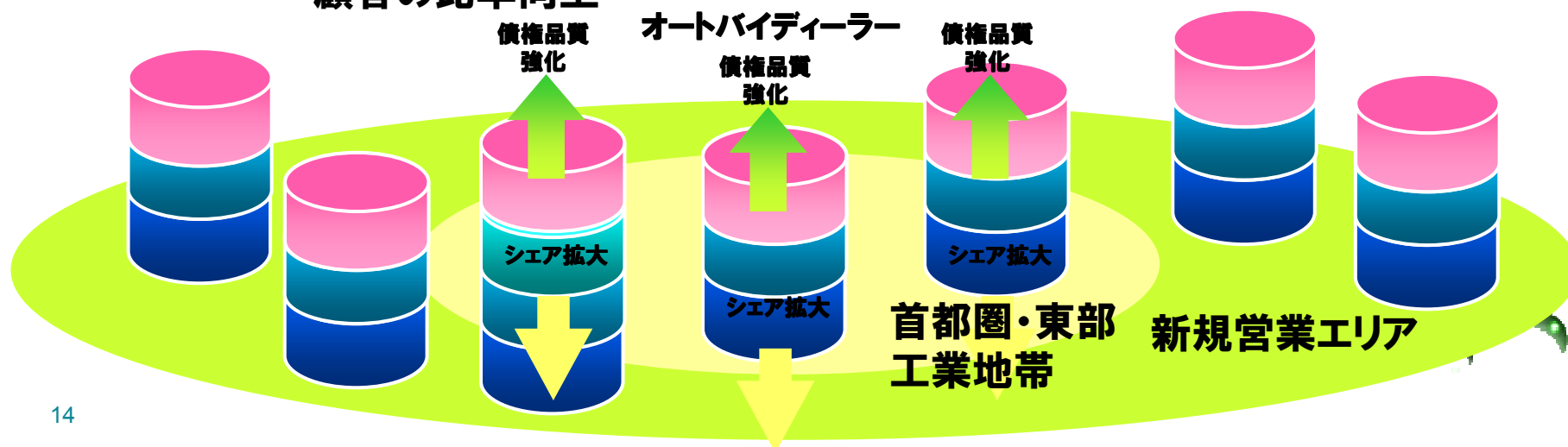
- ❖ 仕込1: 既存ディーラーにおいて、審査を厳格化
直近の新規契約数は減少となるが、現在のタイ国内の
景気減速に対応して、債権の質を向上させ不良債権を
減らし、今後の利益増を図る。



ファイナンス事業(タイGL社)

❖ 仕込2:新たな地域において、新規ディーラーとの提携関係を構築:エリアドミナントから広域展開へ

- 2011年～2013年前半 エリア内営業強化によるポートフォリオの積極拡大
 - ・ 重点目標 エリア内の新規ディーラー数拡大、ディーラー内取引シェア拡大による新規契約総数増加
- 2013年後半～ 新規営業エリア拡大と従来地域の債権の質強化による利益最大化
 - ・ 重点目標 新エリアでのディーラー拡大 与信管理と回収の強化で優良顧客の比率向上



ASEAN一体化とアジアハイウェイ

❖ 南北経済回廊(AH2)

- 中国(昆明)ータイーシンガポール

❖ 東西経済回廊(AH123)

- ベトナム(ダナン)ータイーインド

❖ 第二東西経済回廊(AH1)

- メコンデルタ経済回廊
- バンコクープノンペンーホーチミン



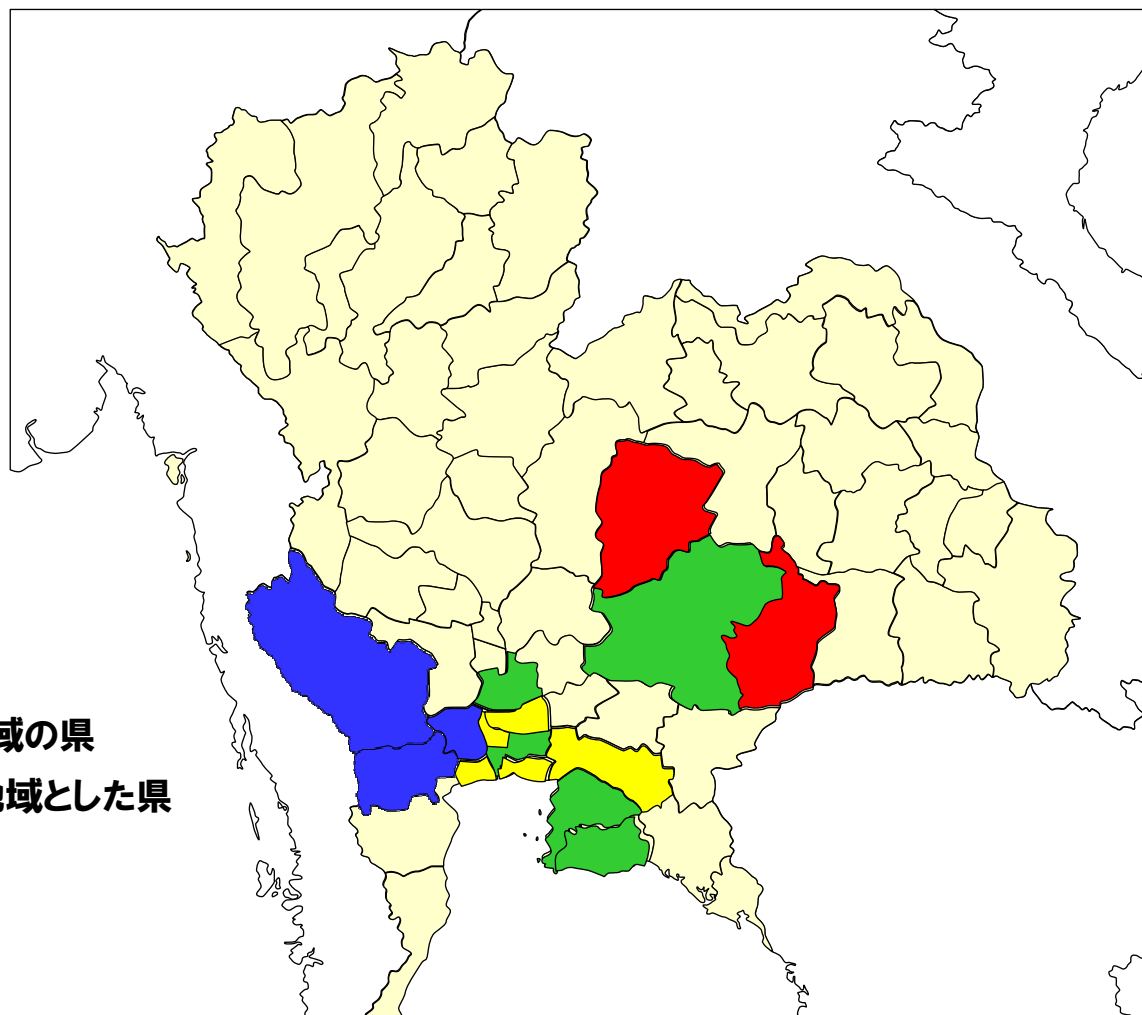
ファイナンス事業(タイGL社)

❖ 仕込2: 新たな地域において、新規ディーラーとの提携関係を構築: エリアドミナントから広域展開へ

タイ国内の景気が減速している今、ディーラーがGL社との提携を歓迎しており、新たな営業拠点の開設を推し進める。

新営業拠点の開設は、一時的に収益低下を招くが、1年程度の期間を経て、収益押し上げへの貢献を見込む。

- GL本社および支店設置県
- 取引先ディーラーのある営業地域の県
- 本年8月に支店を設置し営業地域とした県
- 近日進出予定の地域
- GLが支店を持たないタイ各県



ファイナンス事業(タイGL社)

❖ 仕込3:回収した中古オートバイの販売先開拓

GL社の特長である「担保物件の売却価格が高く、流動性が高い」ビジネスモデルを、今後において、新規契約数が更に増加する状況においても維持する。





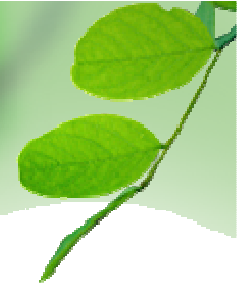
ファイナンス事業(カンボジアGLF社)



- ❖ **GLF社では以下の3つの仕込を実施**
- 1. **カンボジアで98%のシェアを持つホンダNCX社との独占契約を締結し、リース事業を開始**
- 2. **首都プノンペン全域での営業拠点開設を終え、カンボジア全土での開設を展開**
- 3. **SIAM KUBOTAとの業務提携により、新たに農機具リース事業を展開**



カンボジアの農村



今後機械化が進む





ファイナンス事業(カンボジアGLF社)



- ❖ **仕込1:カンボジアで98%のシェアを持つホンダNCX社との独占契約を締結し、リース事業を開始**

2013年6月末 連結開始

- ・ 商品ラインナップや付帯サービスの充実を進める
- ・ 営業ネットワークの拡大を継続

2013年4Q(10~12月)に単月収益貢献化

- ・ 地方展開を進めカンボジア国内の全ディーラーへの営業拠点設定

2015年末までに2012年タイ国内と匹敵する営業規模へと拡大

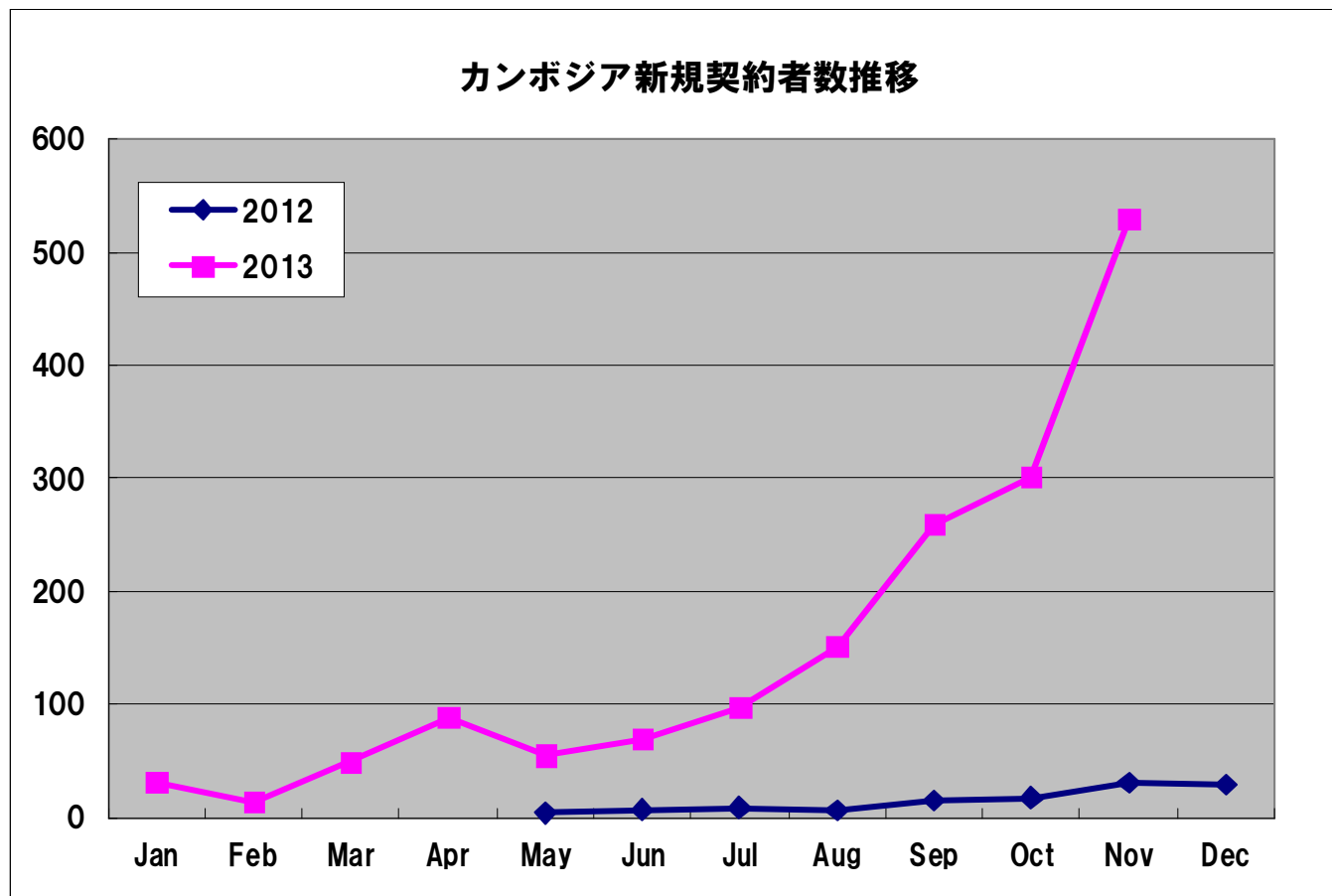
- ・ ポートフォリオの蓄積に伴い売上・利益双方拡大
- 

開設した営業拠点



ファイナンス事業(カンボジアGLF社)

新規契約者数 単月推移



ファイナンス事業(カンボジアGLF社)

- ❖ 仕込3: SIAM KUBOTAとの業務提携により、新たに農機具リース事業を展開






コンテンツ事業



❖ **今期、既存顧客による出版事業からの撤退などがあり、大きな苦戦が続いた。**

コンテンツ事業では以下の3つの仕込を実施

- 1. これまでのゲーム開発や編集の技術を活かして
新規顧客、新規コンテンツの獲得と既存顧客への密着**
 - 2. 開拓精神を起こす「開放」環境の整備**
 - 3. アジアにおける多言語展開の推進**
- 

業績予想と目標

2014年9月期業績予想

❖ 売上高、営業利益は増収増益を予定

	2012年度実績	2013年度実績	2014年度 業績予想
売上高	3,319	4,875	6,200
営業利益	842	791	1,200
経常利益	894	857	1,200
当期純利益	172	490	250

- ・ ファイナンス事業の累計契約増で増収を見込む。
- ・ ファイナンス(タイ・カンボジア)事業、コンテンツ事業の仕込により今後業績は拡大しますが、現時点の予想に含めておりません。
- ・ 当期純利益は、当期発生した特別利益3億74百万円が来期は発生しない前提で減益見込み。



Thank you!

弊社IRに関するお問い合わせ先
株式会社ウェッジホールディングス 経営管理本部
TEL: 03-6225-2161 / FAX: 03-3548-0566
wedge-ir@wedge-hd.com
<http://www.wedge-hd.com>

※本資料には将来に関する記述が含まれていますが、これらの記述は将来の業績を
保証するものではありません。また、本資料の内容に関しては未監査であり、その
内容の正確性および確実性を保証するものではありません。